

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	栽培漁業推進事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	372	21		21			21	351
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	372	21		21			21

事業概要	美保湾地域における栽培漁業の推進のため、鳥取・島根両県の漁業者、行政で連携し諸問題について協議を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	美保湾地域における栽培漁業の推進に関する事項等を協議して栽培漁業の定着化を促進し、美保湾地域における漁業生産の安定向上を図る。		
現状と背景	昭和56年度から平成20年度までクルマエビ種苗放流を実施したが、放流による漁獲増は認められないため一時中止し、状況調査と新たな放流種についての協議を行う。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	魚食普及推進事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	200	400		400			400	200
財源内訳	国							0
	県	100		200			200	100
	市債							0
	その他							0
	一般財源	100	400		200			200

事業概要	各種イベントにて、かに汁、いわしつみれ汁等のふるまいを実施。	今年度見直し事項
事業目的	魚食イベントによる魚食の普及と水産物消費拡大を図る。	
現状と背景	食生活、食文化の変化による魚食離れが著しいため、集客力のあるイベントを利用して魚食の普及を推進する。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	漁業金融対策事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	15,000	15,000		10,000			10,000	5,000
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	15,000	15,000	10,000			10,000	5,000
	一般財源	0	0	0			0	0

事業概要	市内漁業者への円滑な融資を図るための鳥取県信用漁業協同組合連合会への預託金	今年度見直し事項	
事業目的	市内漁業者への融資の円滑化を図る。		
現状と背景	水産業を取り巻く環境は資源の減少、魚価安、燃油高騰等の影響により大変厳しいため、円滑な融資が行われるよう働きかけている。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	水産業復興支援緊急対策資金利子補給事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	819	471		471			471	348
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	819	471		471			471

事業概要	平成12年の鳥取県西部地震により被害を受けた漁業者が借入れた水産業復興支援緊急対策資金への利子補給。	今年度見直し事項	
事業目的	鳥取県西部地震により被害を受けた漁業者等に対し、水産業復興支援緊急対策資金の利子補給を行い、経営の安定を図る。		
現状と背景	平成12年の鳥取県西部地震により被害を受けた漁業者等22名に利子補給を実施。 平成21年度は14名への利子補給を予定。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	漁業雇用促進緊急対策事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	5,906	4,956		4,932		13,212	18,144	12,238
財源内訳	国							0
	県	2,952	2,477	2,465		13,159	15,624	12,672
	市債							0
	その他							0
	一般財源	2,954	2,479		2,467		53	2,520

事業概要	<p>沖合漁業に新規に就業しようとする者に対して漁業体験事業を実施する漁協等を支援する。 沖合漁業新規就業者支援事業の補助割合、事業期間等を拡充することにより新規雇用の促進を図る。 体験事業に要する経費のうち最低賃金相当額を鳥取県10/10、賄い料及び保険料を境港市、漁協等で1/2ずつ負担する。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>漁業体験機会の提供により未経験の新規就業者の確保を促進し、沖合い漁業の発展、漁業生産力の増大を図る。</p>		
現状と背景	<p>世界的な同時不況による影響で雇用面での不安が広がっているため水産業への新規就業の促進と雇用創出を目的として事業を実施する。 水産業の問題として、新規就業者は少なく、短期間での下船率も高いことが挙げられるが、沖合漁業新規就業者支援事業では平成13年の事業実施から41名が事業に取り組み28名が引き続き就業している。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	漁業外国人研修生受入事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	4,094	3,288		3,288			3,288	806
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	4,094	3,288		3,288			3,288

事業概要	国際協力の一環として、他国の青壮年労働者を研修生として受入れ、境港の先進的な漁業技術を修得してもらう。	今年度見直し事項
事業目的	外国人研修生への先進的な漁業技術の移転により国際貢献を果たすとともに、地域水産業の深刻な問題となっている乗組員不足の解消と日本人船員への刺激による漁業生産力の維持と関連産業を含めた地域の活性化を目的とする。	
現状と背景	平成21年度は新規に2名の研修生を受入れ予定。 平成20年度からインドネシア共和国の青年4名を研修生として受入れている。 平成20年度に受入れた研修生は技能実習生へ移行し更なる技術習得を目指す。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	境港水産物流通モデル事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	434	450		450			450	16
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	434	450		450			450

事業概要	朝獲れの境港産鮮魚を当日関西地区量販店店頭で販売するための産直システムに農産物を加えることにより更なる販路拡大を図る。	今年度見直し事項
事業目的	境港産の鮮魚に加え県内農産物を当日関西地区量販店店頭で販売し更なる販路拡大と新規開拓を図る。	
現状と背景	新たな販路開拓を目的に、朝獲れの境港産鮮魚を当日関西地区量販店店頭で販売する流通システムの構築を平成20年度に実施したところ、消費地から鮮魚に加え農産物を直送してほしいとの要望があった。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	船員災害防止事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	50	50		50			50	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	50	50		50			50

事業概要	海難及び船上での事故防止のため船員災害防止協会が実施する船員災害防止活動を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	境港の基幹産業である水産業において船主、船員の安全意識を高揚させ船員事故、疾病等を予防し、水産業の安定的な発展を目的とする。		
現状と背景	漁船員の高齢化をはじめ、資源減少による操業時間の長時間化により集中力が切れるなどして災害が生まれやすい状況となっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	境港水産振興協会漁業情報サービス部補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	120	120		120			120	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	120	120		120			120

事業概要	漁業情報提供、統計業務を実施する境港水産振興協会漁業情報サービス部へ補助を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	(社)漁業情報サービスセンターの協力を得て、境港水産業を中心に漁業情報提供、統計業務を実施する。		
現状と背景	水産関係機関を中心に漁獲日報、月報及び年報等の情報をいち早く提供する。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	境港水産振興協会補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	500	500		500			500	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	500	500		500			500

事業概要	境港唯一の水産総合団体として、水産業安定発展のための事業を実施する境港水産振興協会を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	多数の漁業者・企業を取りまとめ水産業の持つ諸問題・要望の解決に取り組むことで水産業の安定発展を図る。		
現状と背景	境港水産振興協会は境港地域水産業構造改革推進プロジェクト協議会事務局を務める等、境港水産業界の取りまとめ役となっている	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	漁業近代化資金利子補給金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	184	131		131		131	0	184
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	184	131		131		131	0

事業概要	漁業近代化資金に対する利子補給金	今年度見直し事項	
事業目的	漁業者及び加工業者に対して資金借入の利子補給を行い、漁業振興と経営安定を図る。		
現状と背景	近年は新規借入者に対する利子補給は低金利のため該当なし。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	地域漁海況情報サービス事業負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	320	320		320			320	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	320	320		320			320

事業概要	全国に4箇所しかない漁業情報サービスセンター出張所の維持のための負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	中西部日本海域での魚海況情報等のデータ提供により漁獲量の安定と効率的な漁獲が可能。		
現状と背景	日本海中西部海域でのほぼ10日先の魚海況短期予報を水産関係機関を中心に提供する。 漁業情報サービスセンターの出張所は道東出張所、東北出張所、境港出張所、九州出張所の4箇所に設置されている。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	境港水産まつり補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	850	650		650			650	200
財源内訳	国							0
	県	0		325			325	325
	市債							0
	その他							0
	一般財源	850	650		325			325

事業概要	境港における水産業界最大のイベント「境港水産まつり」への支援。	今年度見直し事項
事業目的	境港水産業界の持続的な発展を念願し、消費者へ水産物に対する理解を深めてもらう。	
現状と背景	10月に行われる境港水産まつりは境港における水産業界最大のイベントであり、県内外から多数の参加者が訪れる。水産物、魚食のPR推進に多大な影響を与えている。	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	マグロ資源地域活用推進事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	781		711			711	711
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	781		711			711

事業概要	クロマグロの冷凍試験と市場での価格、品質評価の調査について支援を行う。夏場の短い期間に水揚されるクロマグロの冷凍保存方法と消費地での評価について実証試験を行い、通年出荷の可能性を追求する。	今年度見直し事項	
事業目的	夏の境漁港を代表するクロマグロの新たな可能性を探ることにより、付加価値向上と通年出荷による価格安定を図る。		
現状と背景	境漁港に水揚されるクロマグロは生鮮のまま消費地市場へ出荷されているため、6月から8月の短い期間の出荷となっている。境港の貴重な資源として通年の出荷を望む声がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	境港の干物ブランドづくり支援事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	150		150			150	150
財源内訳	国							0
	県			75	75			0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	150		75	75		150

事業概要	美保湾や中海産の水産物を用いた境港らしい新たな干物開発や高品質な干物づくり、干物のPRを支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	仲買加工業グループや漁協女性部等が行う境港らしさの出た新たな干物商品の開発や高品質化、情報発信を支援することにより販売促進及び観光客の誘致を図る。		
現状と背景	近年急増する境港への観光客は鮮魚よりも保存、調理が簡便な干物を求める傾向がある。 境港への観光客の伸びに対する水産物販売の伸びは低調。 干物には多種多様な水産物が利用可能なため水産物消費の拡大が期待できる。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	水産加工品ブランド化事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	200		200			200	200
財源内訳	国							0
	県	0		100			100	100
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	200		100			100

事業概要	境港で生産される水産加工品の地元への周知と地域発の水産加工品ブランド化を目的として開催される「みんなで選ぶ境港の水産加工品大賞」への負担金	今年度見直し事項	
事業目的	境港で生産される水産加工品の地元への周知と地域発の水産加工品のブランド化による消費の拡大とPRの推進を目指す。		
現状と背景	境港市の基幹産業として地域経済を支える水産加工業であるが、地元でも境港でどのような水産加工品が生産され流通しているかを知る人は少ないのが現状である。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	親子おさかな教室
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	304		0	198		198	198
財源内訳	国							0
	県	0			59		59	59
	市債							0
	その他	0	120		80		80	80
	一般財源	0	184		0	59		59

事業概要	小学生を対象とした、親子おさかな教室(水産物の学習と料理実習)を開催。学習と料理実習の組み合わせで、見、触り、食し、学ぶことで効果的に目的の達成を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	小学生を対象とした境漁港に水揚げされる水産物の学習、料理の機会を設け、食育をととした地元産業と境港で漁獲される水産物への理解、魚食の普及を図る。		
現状と背景	食文化、生活スタイルの変化による魚食離れが著しく、水産物の消費は低迷している。また水産物に対する興味、知識についても低下しているため、水産物について知る機会を設け、問題の解決の糸口としたい。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	クルマエビ種苗育成施設撤去事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	2,205		2,205			2,205	2,205
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	2,205		2,205			2,205

事業概要	境港市福定町に設置されたクルマエビ種苗中間育成施設の撤去工事。	今年度見直し事項
事業目的	平成20年度でクルマエビ種苗放流事業が終了するため老朽化した施設を撤去し跡地を有効活用する。	
現状と背景	昭和63年に設置されたクルマエビ種苗中間育成施設はクルマエビ種苗放流に使用されてきたが放流事業は平成20年度で終了し施設の老朽化も著しいため撤去工事を行う。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産農業課
事業名	水産業燃油高騰対策緊急支援事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	8,870		500			500	500
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	8,870		500			500

事業概要	燃油高騰に対応した新たな操業体制をつくるため、燃油消費量削減を目的として省燃油操業実証事業に取り組む漁業者への支援を実施する。	今年度見直し事項
事業目的	漁業者グループを組織して省燃油操業実証事業に取り組む漁業者を支援することにより燃油高騰に対応する操業体制の構築の促進を目的とする。	
現状と背景	昨今の燃油価格高騰は、下落傾向にあるとはいえ、本市の基幹産業である水産業へ多大な影響を与え、漁業生産量の低下により、関連産業にも深刻な影響を与える恐れがある。	その他